

第 15 回 防災対策指針検討会 議事録

1.開催日時：平成 20 年 7 月 11 日（水）10:30～12:45

2.開催場所：日本電気協会 4 階 D 会議室

3.参加者（順不同，敬称略）

委員：岩崎主査(関西電力),飯塚(東北電力),中田(北陸電力),田中(中国電力),田尻(九州電力),沼田(日本原子力発電) (計 6 名)

代理：森谷(東京電力・斉藤候補),長谷川(北海道・早川),森(中部電力・霜垣),磯野(四国電力・高橋) (計 4 名)

オブザーバ：辻(関西電力),阿部(日本原子力研究開発機構),岡村(日本原燃),猪俣(原子力安全・保安院) (計 4 名)

事務局：田村,糸田川(日本電気協会) (計 2 名)

4.配付資料

資料 No.15-1 第 14 回防災対策指針検討会議事録(案)

資料 No.15-2 「当面の課題」の J E A G 4 1 0 2 反映検討表

資料 No.15-3 JEAG4102「原子力発電所の緊急時対策指針」本文(案)

資料 No.15-4 JEAG4102「原子力発電所の緊急時対策指針」解説(案)

参考-1 第 15 回運転・保守分科会議事録(案)

参考-2 第 29 回原子力規格委員会議事録(案)

参考-3 防災基本計画抜粋

参考-3' 防災基本計画ほか抜粋

5.議事

(1)定足数確認

委員総数 10 名に対して出席者 10 名。代理出席者 4 名及びオブザーバ参加者について,岩崎主査の承認を得た。

(2)前回議事録の確認

事務局より,前回議事録(案)(資料 15-1)が読み上げられ,原案どおりで正式議事録とすることが確認された。

(3) JEAG4102「原子力発電所の緊急時対策指針」改定(案)の検討

主査より,資料 15-2,3,4 参考 1～3,3' に基づき, JEAG4102「原子力発電所の緊急時対策指針」改定(案)に関して,前回検討会以降,指針案に反映した内容について説明が行われ,審議した。

本日の審議を踏まえ,主査が各資料の修正版を作成し,各委員に送付し,次回までに各委員が内容をチェックすることとされた。

(主なコメント)

[資料 15-2]

・特になし

[資料 15-3]

・特になし。

[資料 15-4]

・ 23 頁解説表-5(3)計測器等の仕様欄などの記載は,原子力発電所放射線モニタリング指針の記載状況などとの整合から,見直す必要がある。

・ 24 頁表中の熱ルミネセンス線量計又は蛍光ガラス線量計欄の配備数の項で,「熱ルミネセンス線量計の場合には,」は不要に付き,削除する。

・ 34 頁:A , の訓練時の記載は不要ではないか。A の記載例は,号機まででよいのではないか。

・ 36 頁:「B 」 「B 」に修正。B 解説文の「専用様式を用いることができるものとする。」は,修文する。また,いつからいつまでの時系列を記載するかを明確にするため,「前回通報後～今回通報時までの内容を記載する。」を追記する。B (例 2)の「プラント状態に特に変化なし」は,B にも入れたほうがよいのではないか。

・ 37 頁:7.放射性物質の放出状況等の「確認時刻」と放出実績評価欄の「評価時刻」は整合させる必要があるのではないか。D , D は SI 単位のみ記載とする。

- ・ 38 頁：ERSS へのオフライン伝送項目の中で，D ~D に入っていないものについての考え方を記載した方がよい。E に，「モニタリングポストの単位は Gy/h であるが，防災指針に基づいて，1 Gy=1Sv として記載する。」を追記する。G に添付資料を追記し，G を削除する。

6.その他

次回検討会の開催日程は，別途調整することとされた。

以上